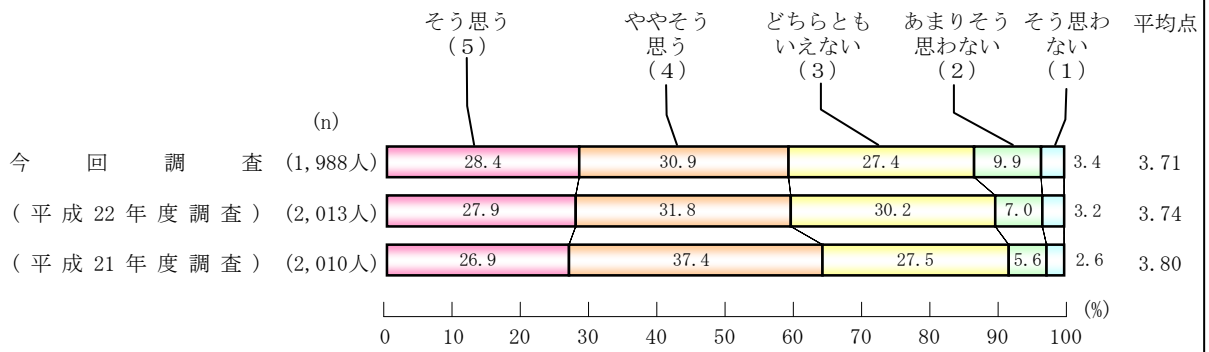
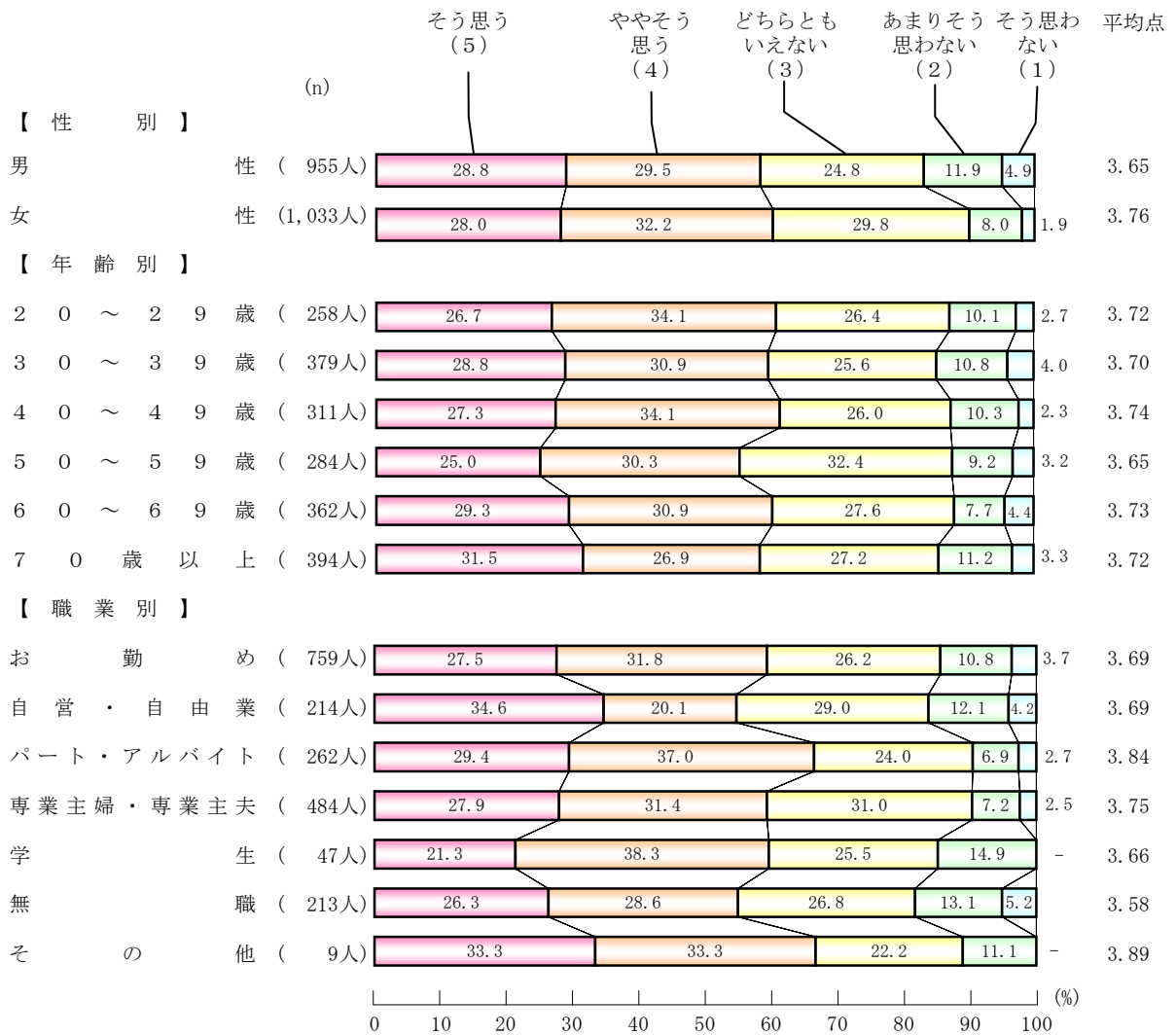


Q6 (g) 裁判の手續や内容がわかりやすくなる

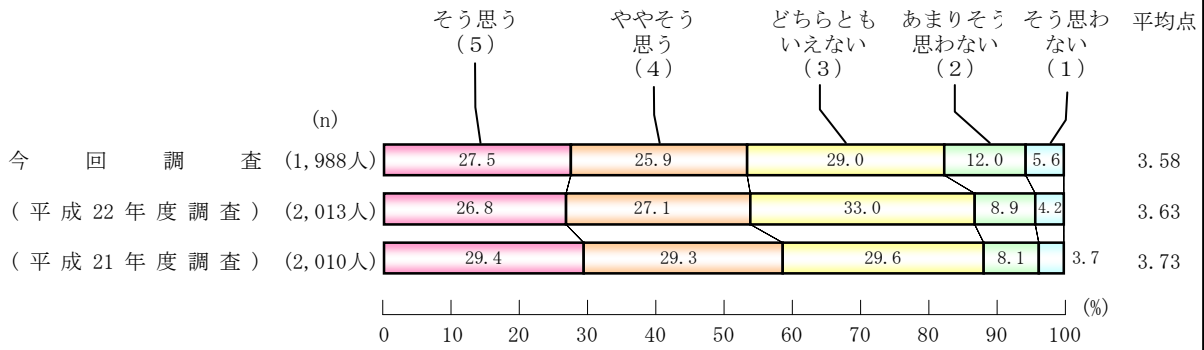


裁判員制度の実施により『裁判の手續や内容がわかりやすくなる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は59.3%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は13.3%であった。

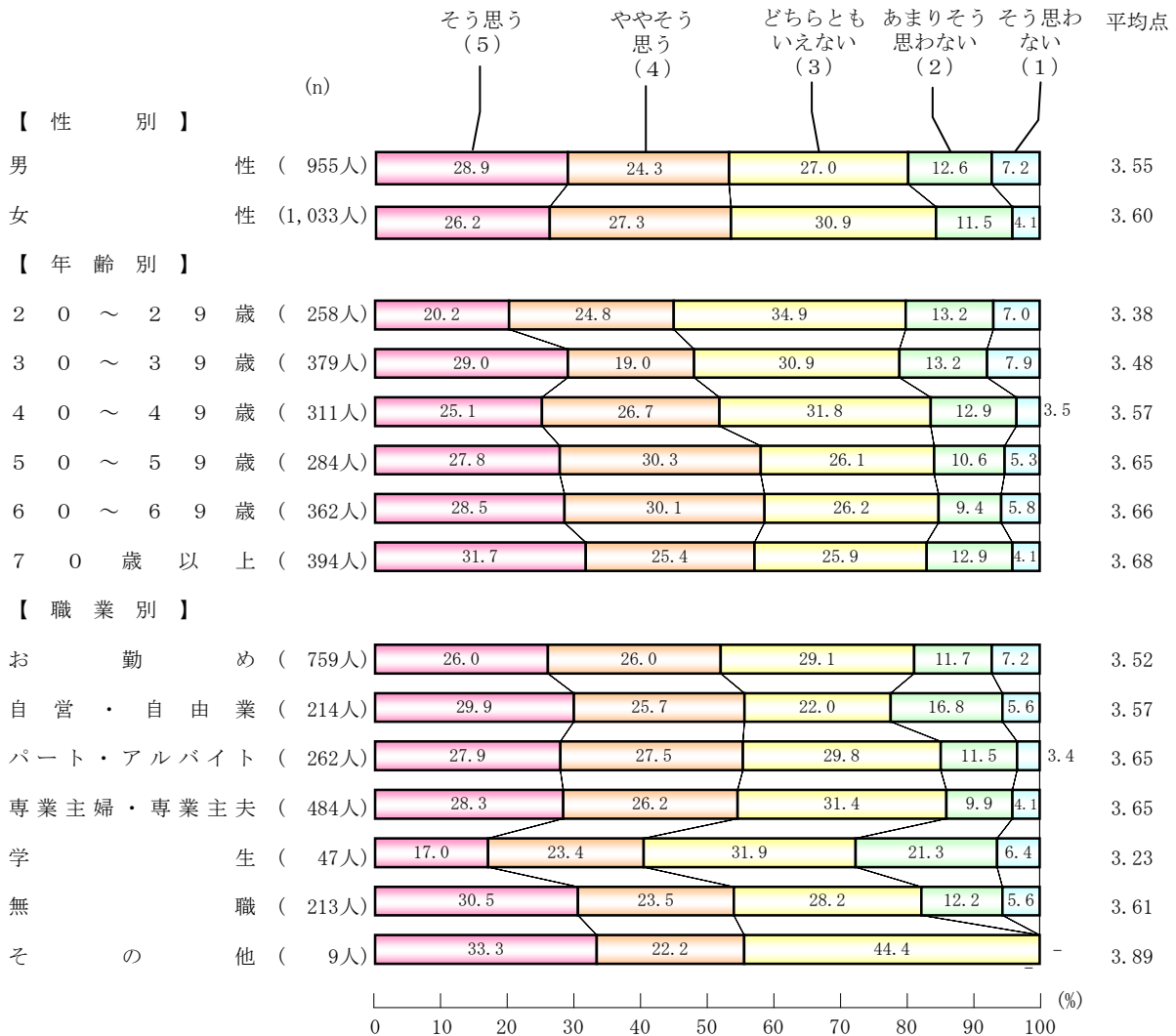


『裁判の手續や内容がわかりやすくなる』ことに対する期待について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別、年齢別にみると、大きな差はみられない。職業別にみると、自営・自由業、無職で低くなっている。

Q6 (h) 裁判が迅速になる

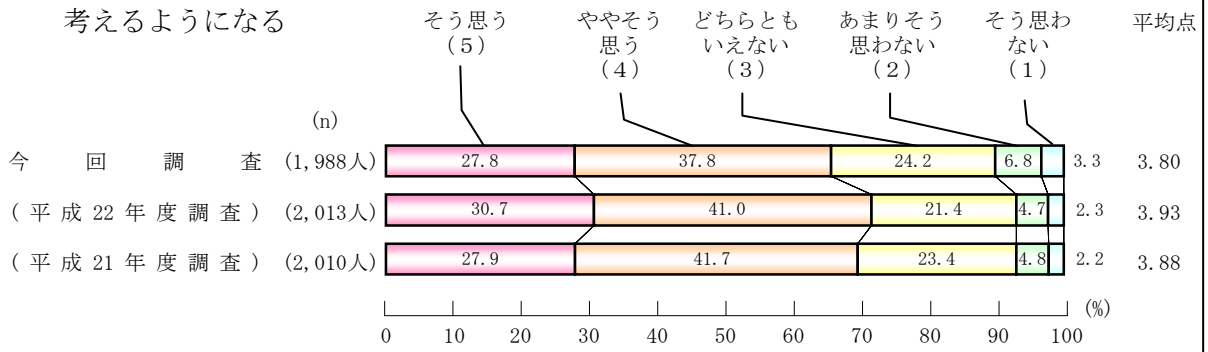


裁判員制度の実施により『裁判が迅速になる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は 53.4%，『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は 17.6%であった。

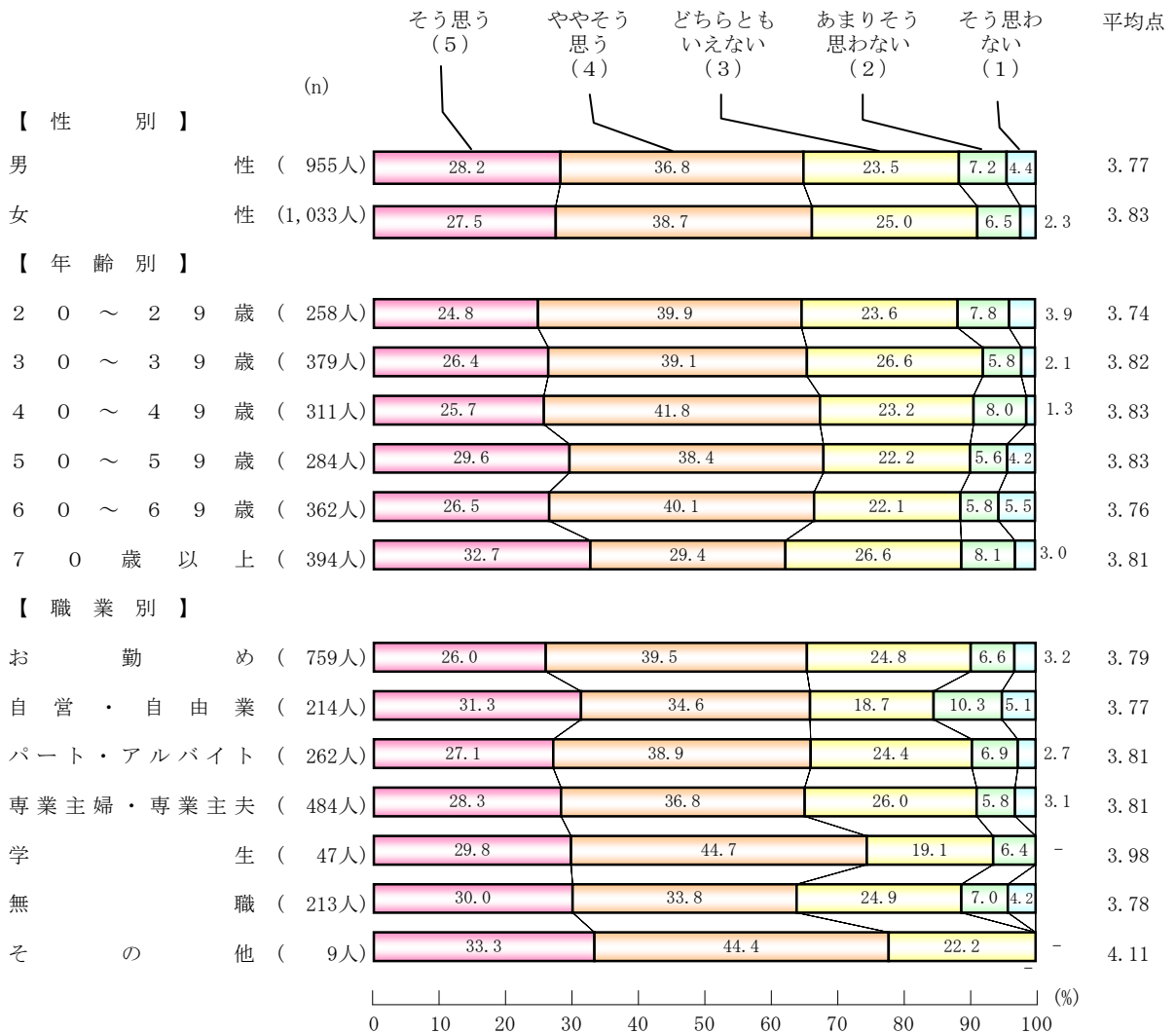


『裁判が迅速になる』ことに対する期待について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、大きな差は見られないが、年齢別にみると、20代で低く、60代で高くなっている。職業別にみると、学生で低くなっている。

Q6 (i) 刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになる



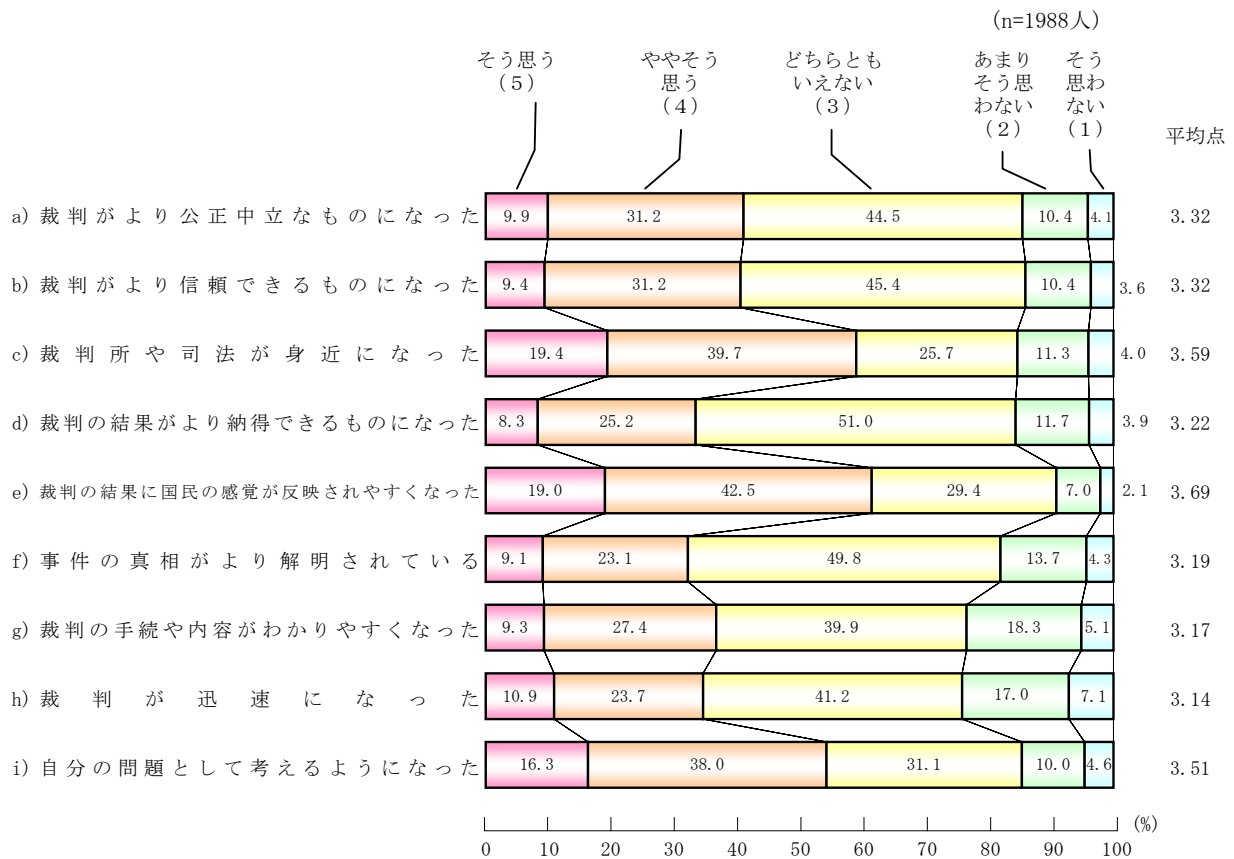
裁判員制度の実施により『刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は65.6%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は10.1%である。



『刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになる』ことに対する期待について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別、年齢別にみると、大きな差はみられない。職業別にみると、無職で低くなっている。

7 現在実施されている裁判員制度の印象

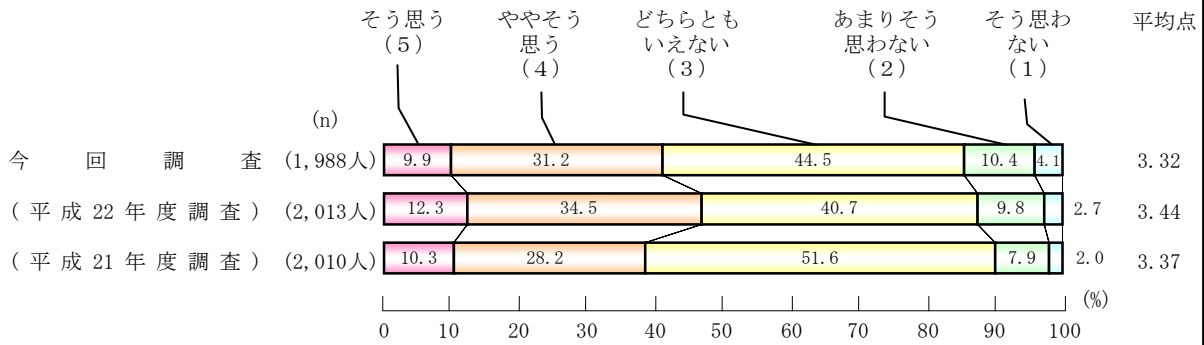
Q7 [回答票7] あなたは、現在実施されている裁判員制度について、どのような印象を持っていますか。次の(a)～(i)のそれぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。



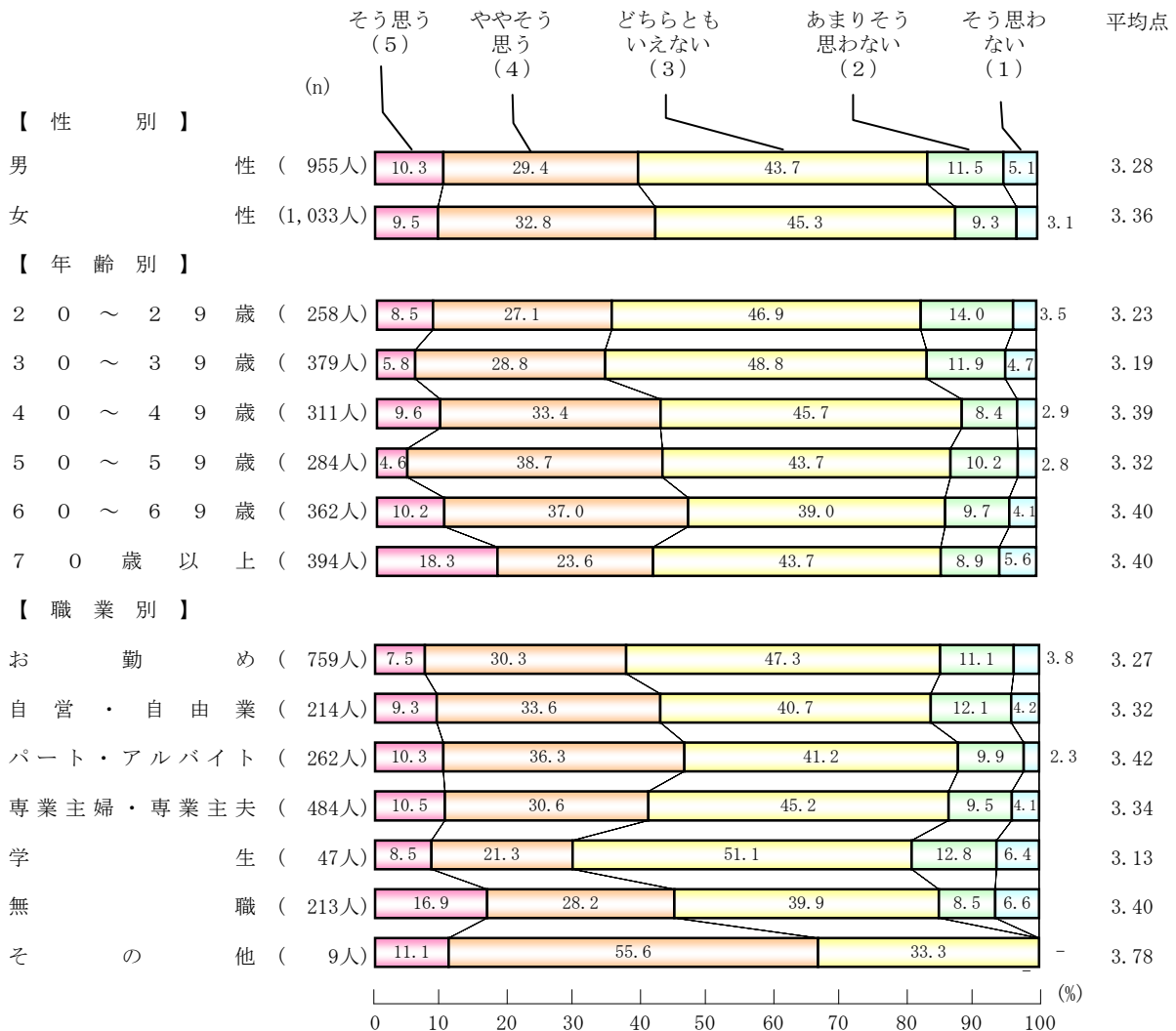
* 平均点は「そう思う」5点、「ややそう思う」4点、「どちらともいえない」3点、「あまりそう思わない」2点、「そう思わない」1点でウエイト処理したものである。

現在実施されている裁判員制度について、どのような印象を持っているか、9項目の内容について聞いたところ、平均点が最も高かったのが『裁判の結果（判断）に国民の感覚が反映されやすくなった』（3.69点）、以下、『裁判所や司法が身近になった』（3.59点）、『刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになった』（3.51点）、『裁判がより信頼できるものになった』（3.32点）、『裁判がより公正中立なものになった』（3.32点）、『裁判の結果（判断）がより納得できるものになった』（3.22点）、『事件の真相がより解明されている』（3.19点）、『裁判の手続や内容がわかりやすくなった』（3.17点）、『裁判が迅速になった』（3.14点）となっている。

Q7 (a) 裁判がより公正中立なものになった

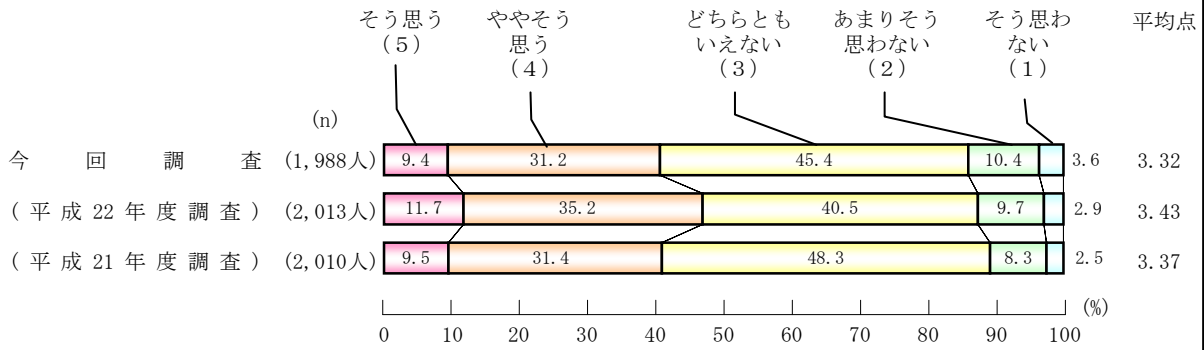


裁判員制度実施後の変化として『裁判がより公正中立なものになった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は41.1%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は14.5%である。

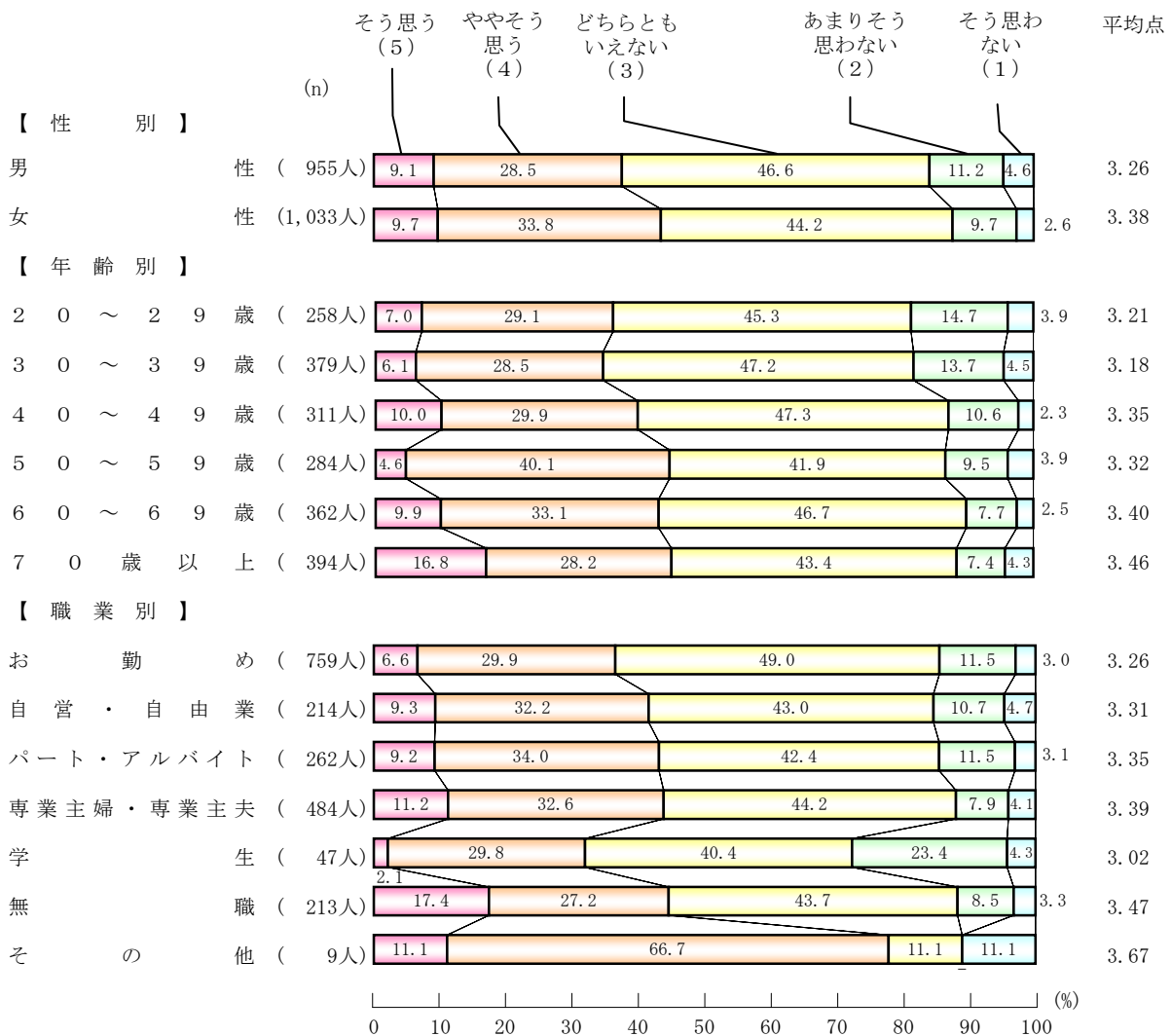


『裁判がより公正中立なものになった』という印象について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、大きな差はみられず、年齢別にみると、60代で高く、30代で低くなっている。職業別にみると、学生で低くなっている。

Q7 (b) 裁判がより信頼できるものになった

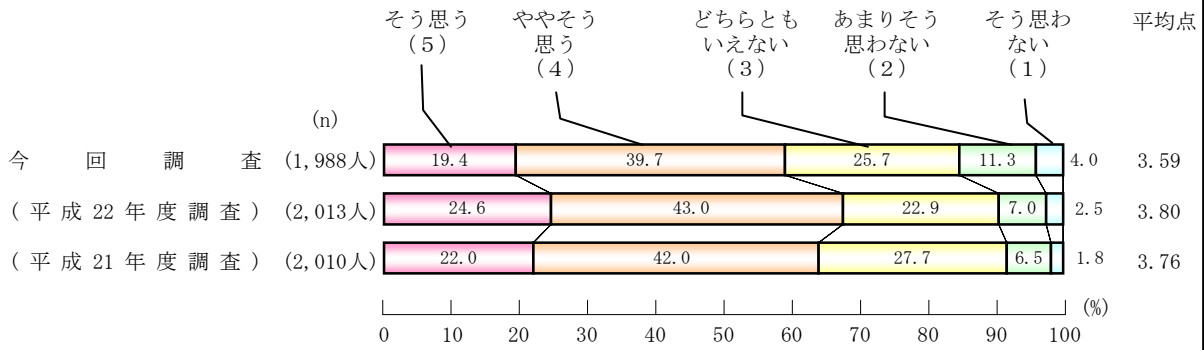


裁判員制度実施後の変化として『裁判がより信頼できるものになった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は40.6%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は14.0%である。

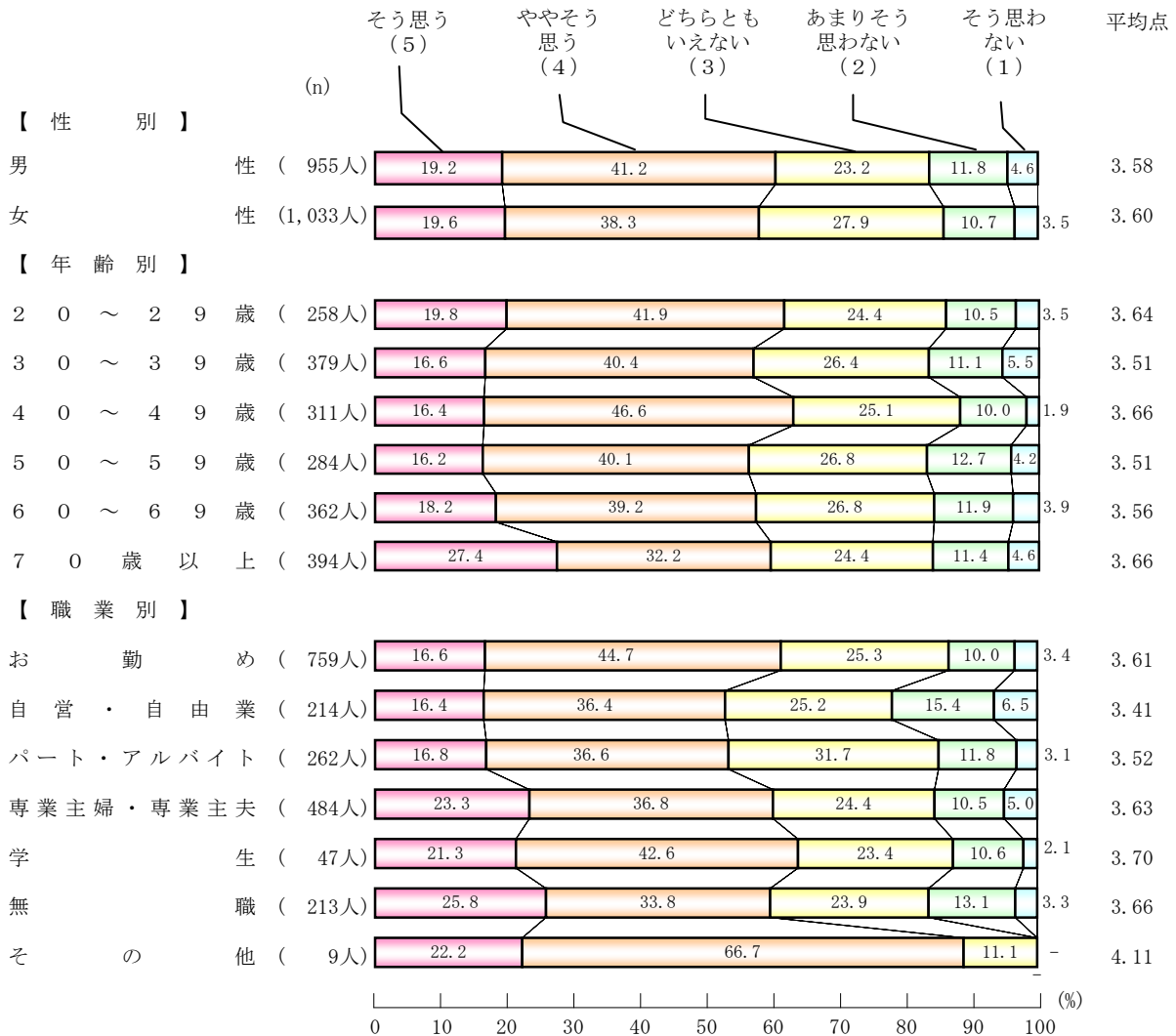


『裁判がより信頼できるものになった』という印象について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、女性で高く、年齢別にみると、30代で低く、70歳以上で高くなっている。職業別にみると、学生で低くなっている。

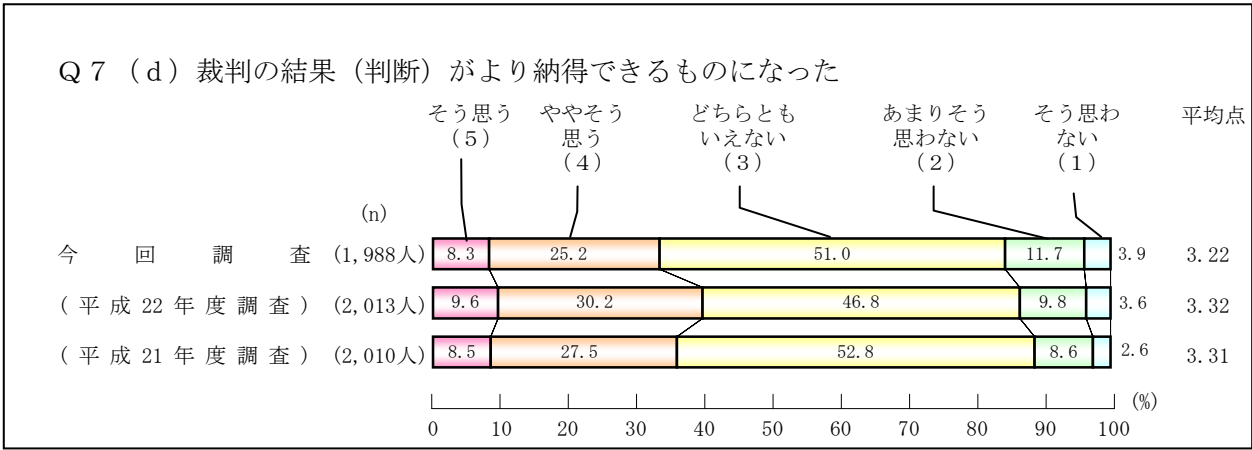
Q7 (c) 裁判所や司法が身近になった



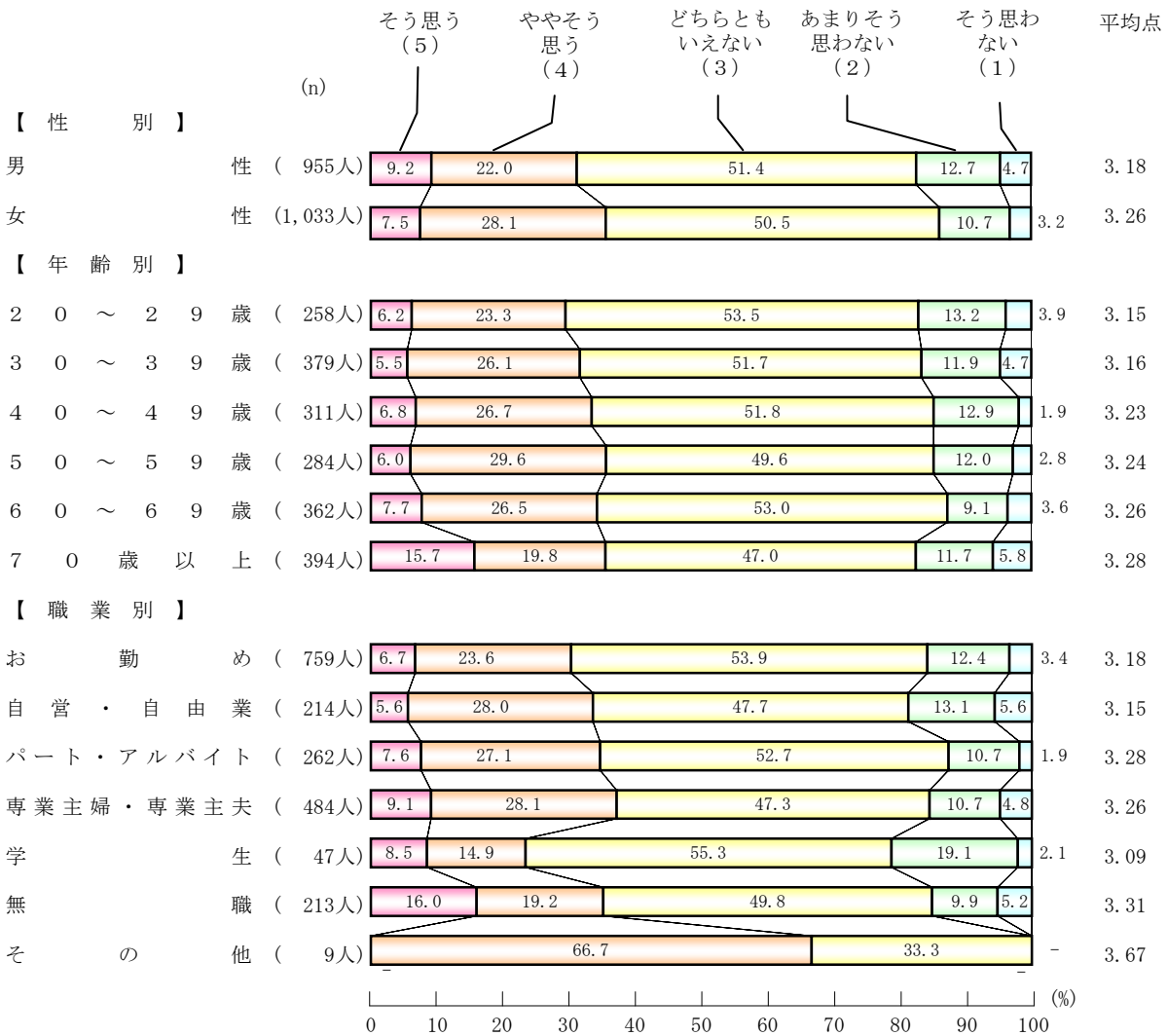
裁判員制度実施後の変化として『裁判所や司法が身近になった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は59.1%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は15.3%である。平成22年度調査と比べて、『そう思う』が8.5%減っている。



『裁判所や司法が身近になった』という印象について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、大きな差はみられない。年齢別にみると、40代で高くなっている。職業別にみると、自営・自由業、パート・アルバイトで低くなっている。

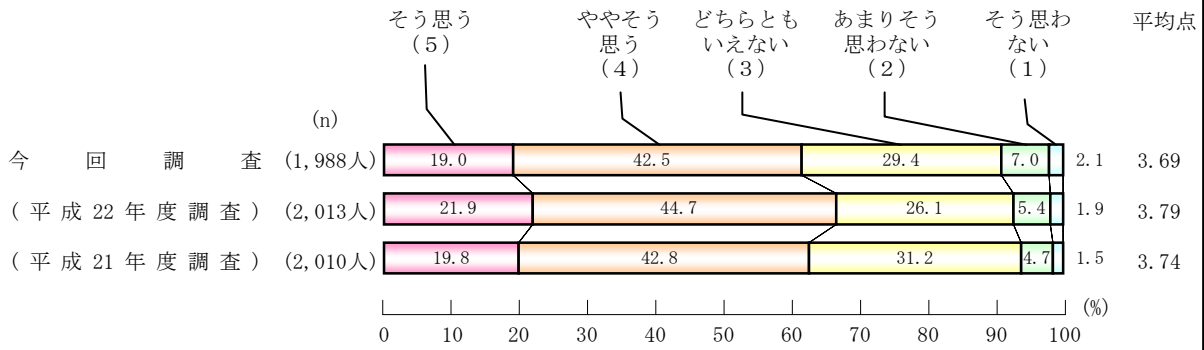


裁判員制度実施後の変化として『裁判の結果（判断）がより納得できるものになった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は 33.5%，『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は 15.6%である。

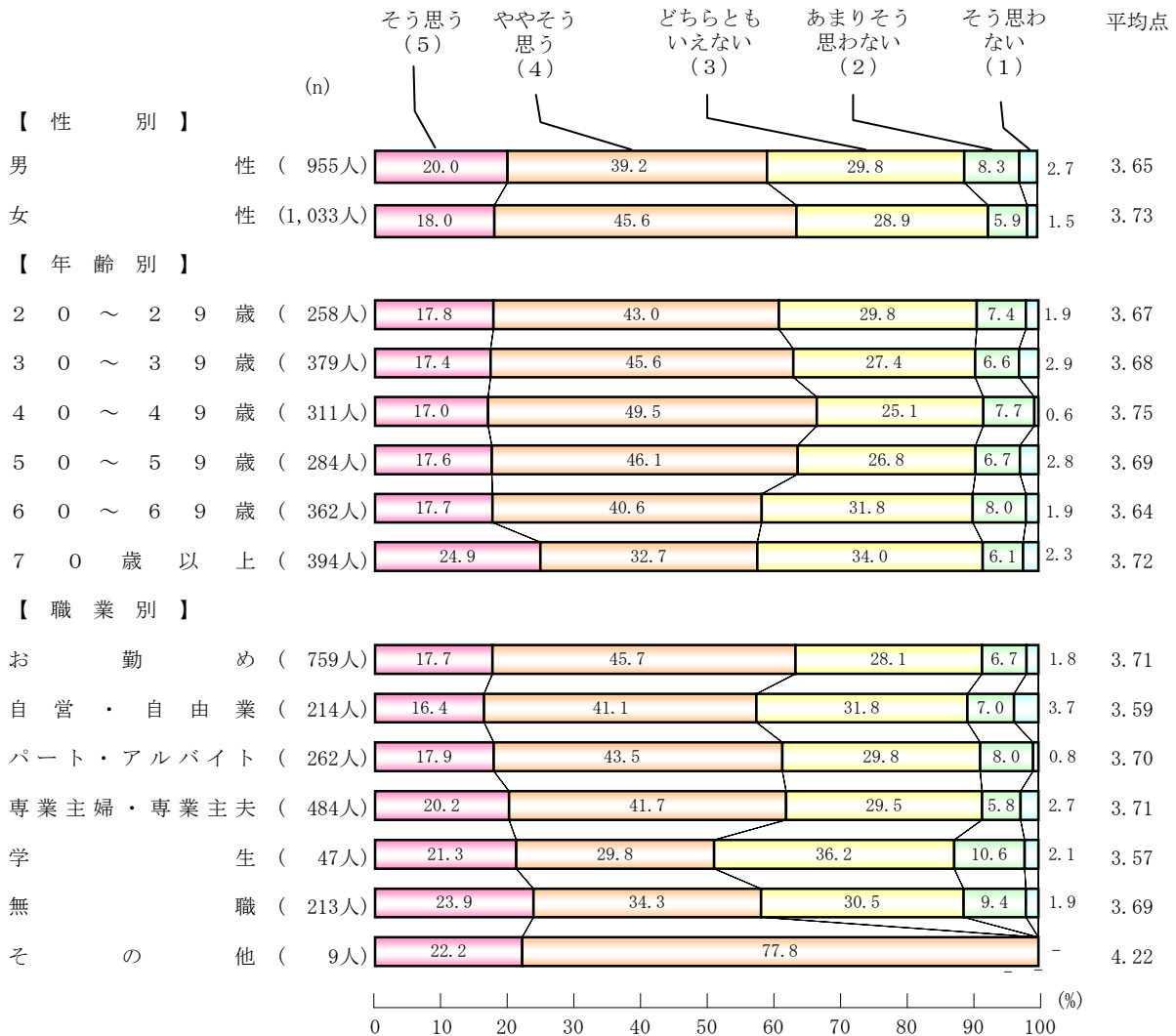


『裁判の結果（判断）がより納得できるものになった』という印象について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、女性で高くなっており、年齢別にみると、50代で高くなっており、20代で低くなっている。職業別にみると、専業主婦・専業主夫で高くなっている。

Q7 (e) 裁判の結果（判断）に国民の感覚が反映されやすくなった

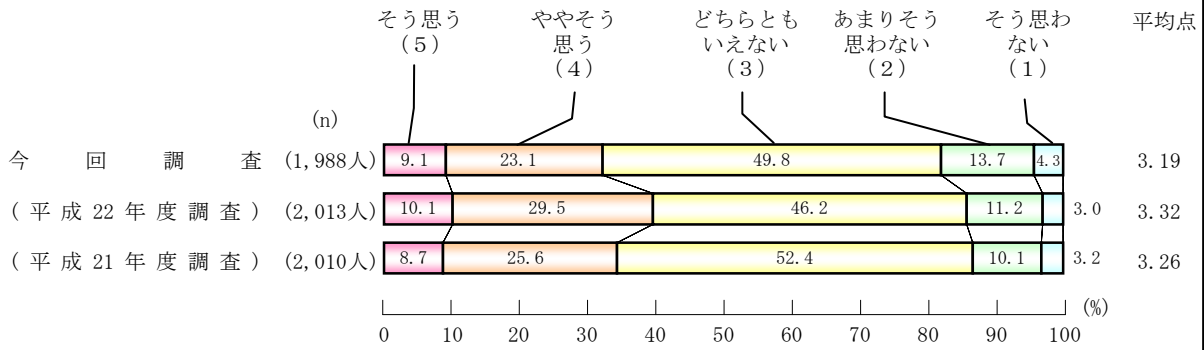


裁判員制度実施後の変化として『裁判の結果（判断）に国民の感覚が反映されやすくなった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は61.5%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は9.1%である。

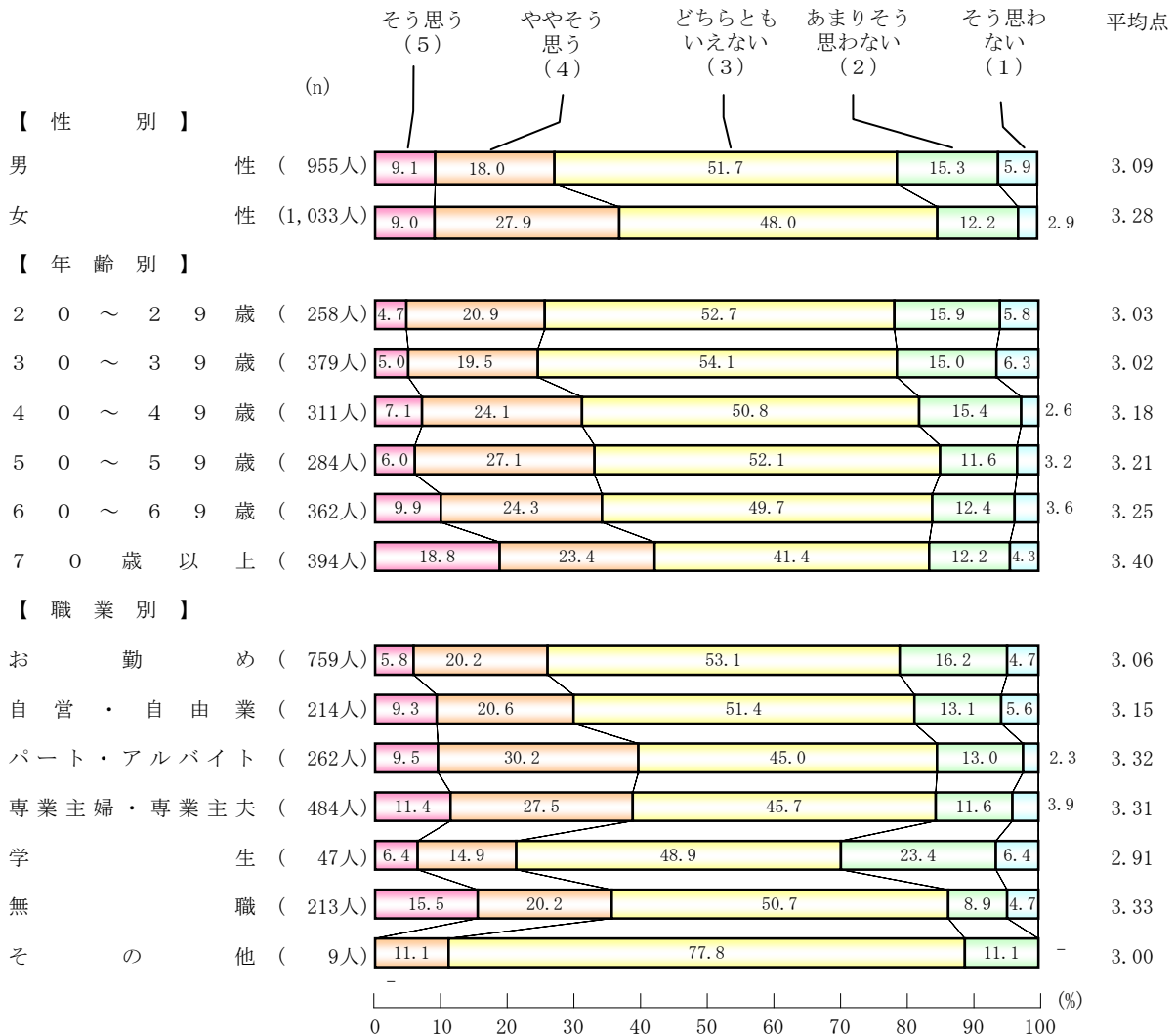


『裁判の結果（判断）に国民の感覚が反映されやすくなった』という印象について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、女性で高く、年齢別でみると、40代で高くなっている。職業別にみると、お勤めで高くなっている。

Q7 (f) 事件の真相がより解明されている

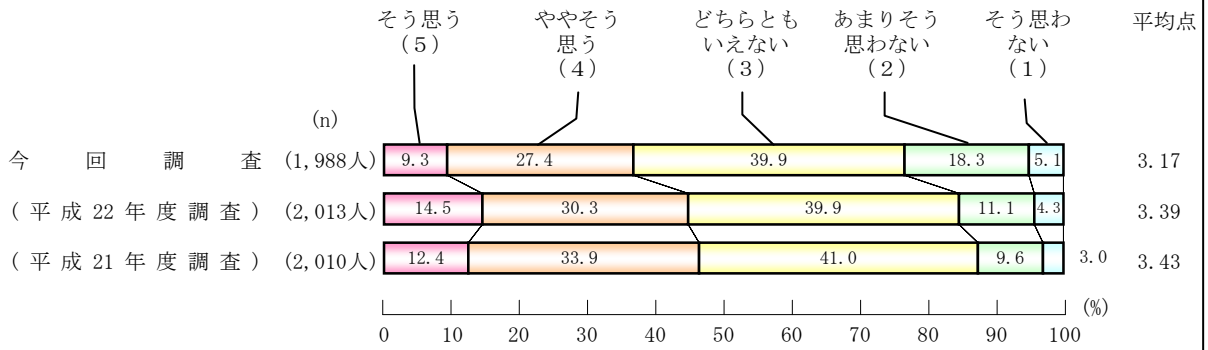


裁判員制度実施後の変化として『事件の真相がより解明されている』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は 32.2%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は 18.0%である。

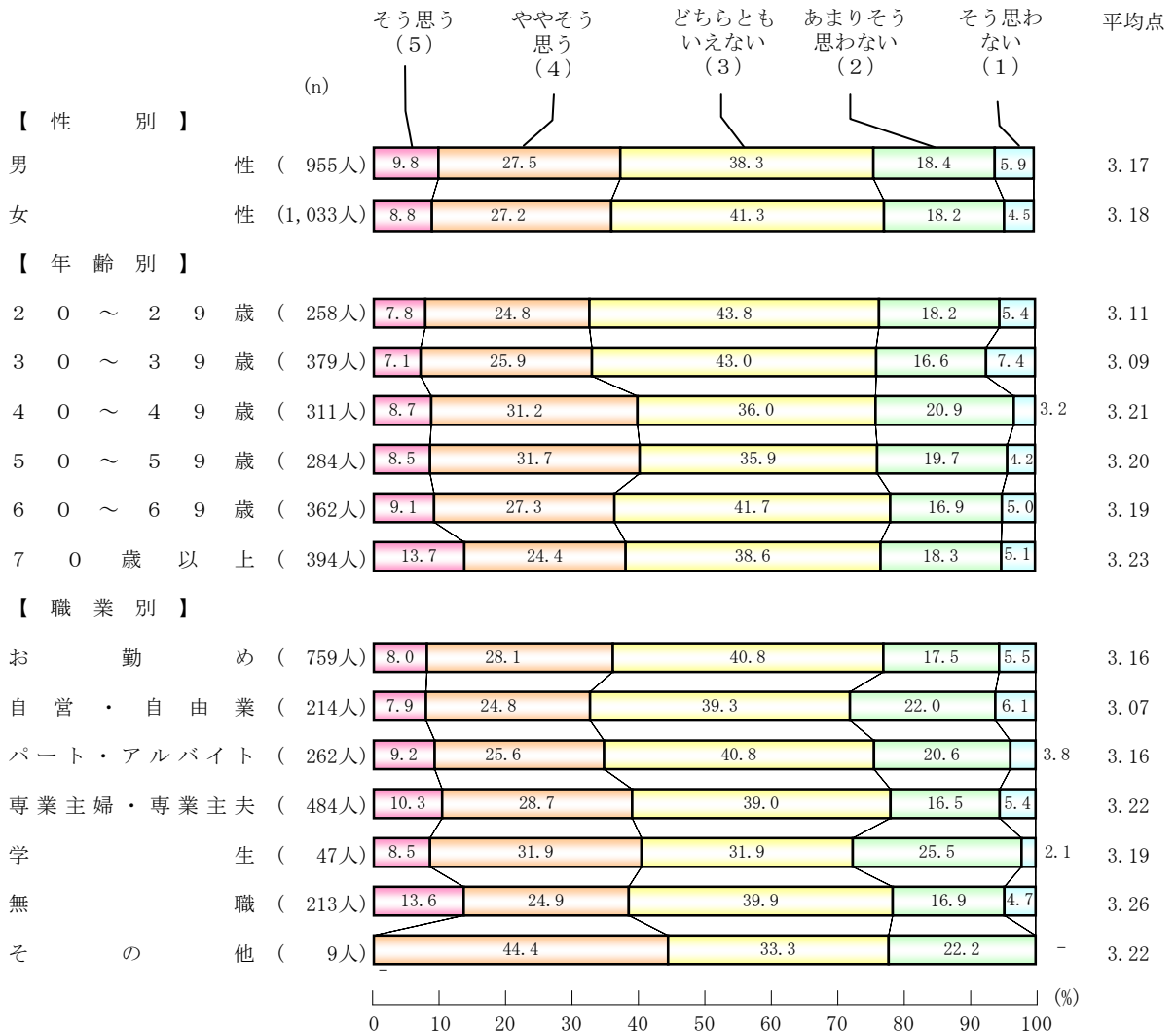


『事件の真相がより解明されている』という印象について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、女性で高く、年齢別にみると、20代、30代で低く、70歳以上で高くなっている。職業別にみると、学生で低くなっている。

Q7 (g) 裁判の手續や内容がわかりやすくなった

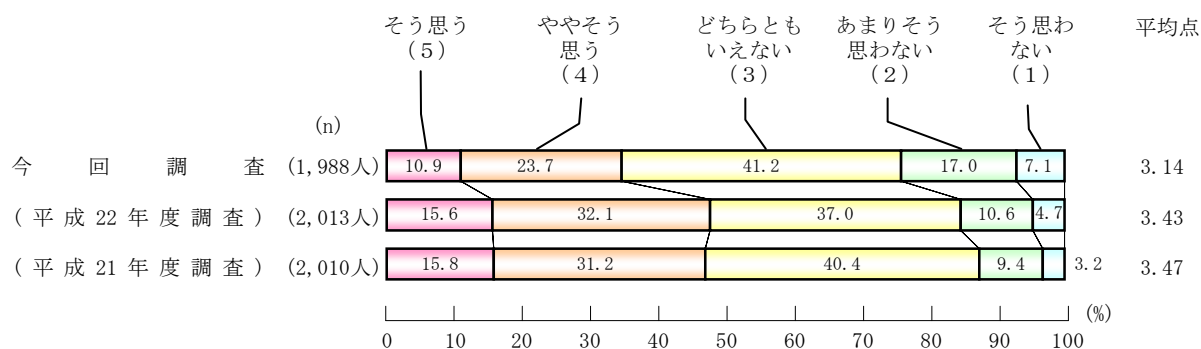


裁判員制度実施後の変化として『裁判の手續や内容がわかりやすくなった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は36.7%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は23.4%である。平成22年度調査と比べて、『そう思う』が8.1%減っている。

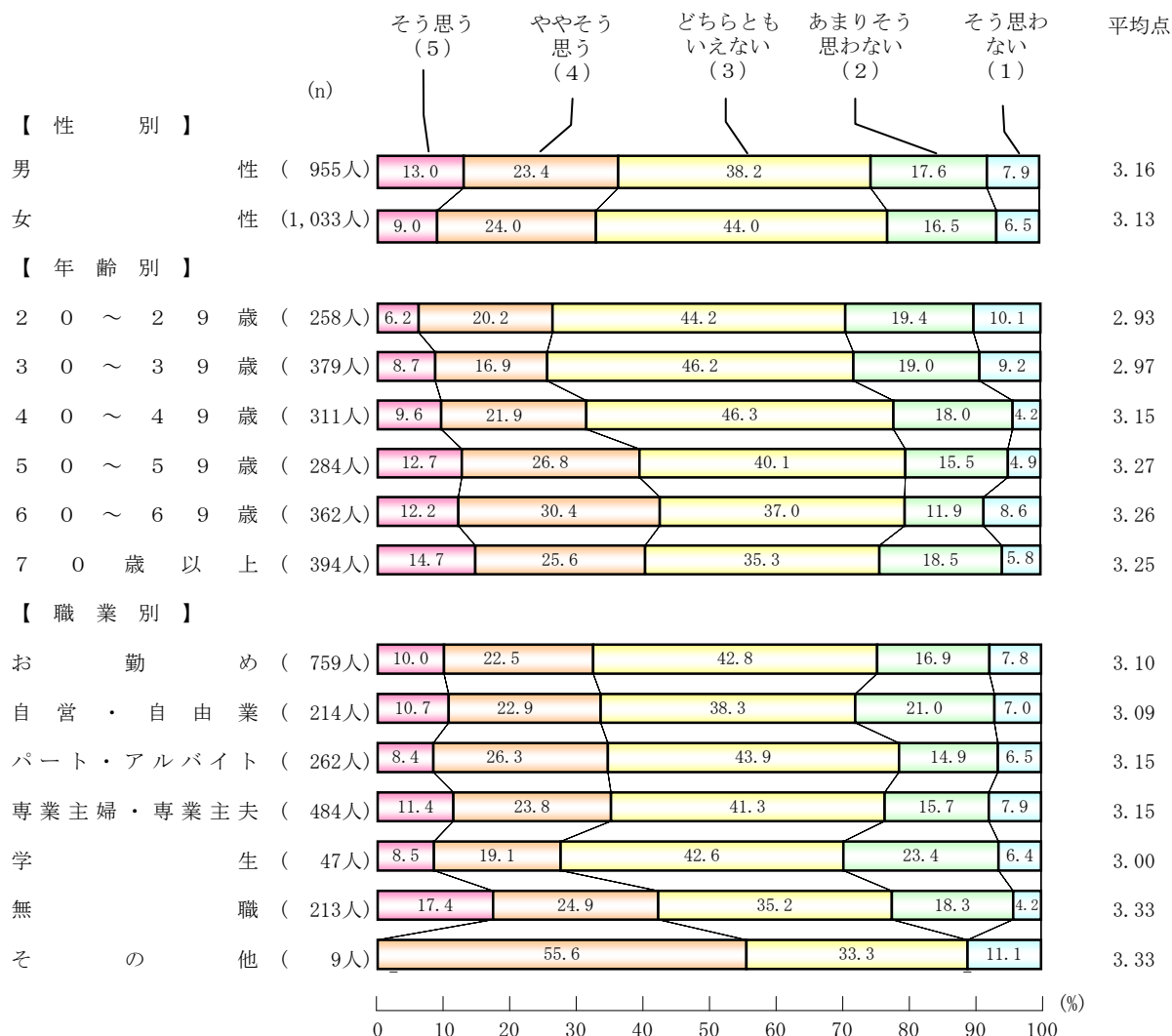


『裁判の手續や内容がわかりやすくなった』という印象について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、大きな差はみられず、年齢別にみると、40代、50代で高くなっている。職業別にみると、自営・自由業で低くなっている。

Q7 (h) 裁判が迅速になった

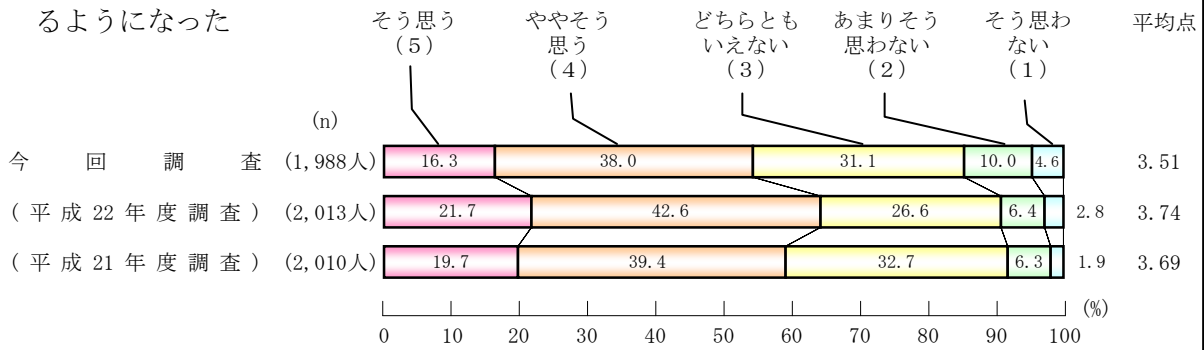


裁判員制度実施後の変化として『裁判が迅速になった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は 34.6％、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は 24.1％である。平成22年度調査と比べて、『そう思う』が 13.1％減っている。

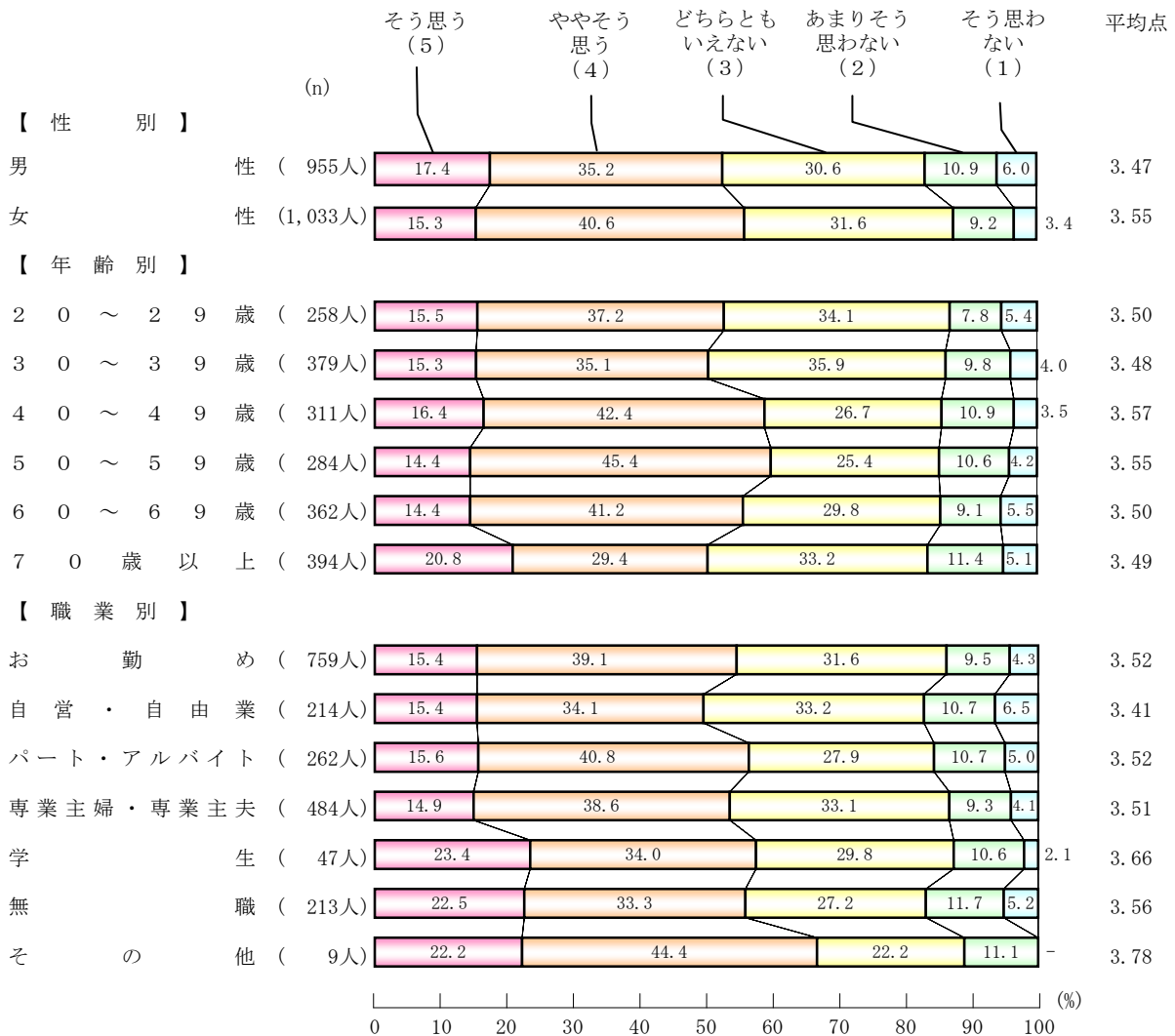


『裁判が迅速になった』という印象について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、大きな差はみられず、年齢別にみると、20代、30代で低くなっている。職業別にみると、無職で高くなっている。

Q7 (i) 刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになった



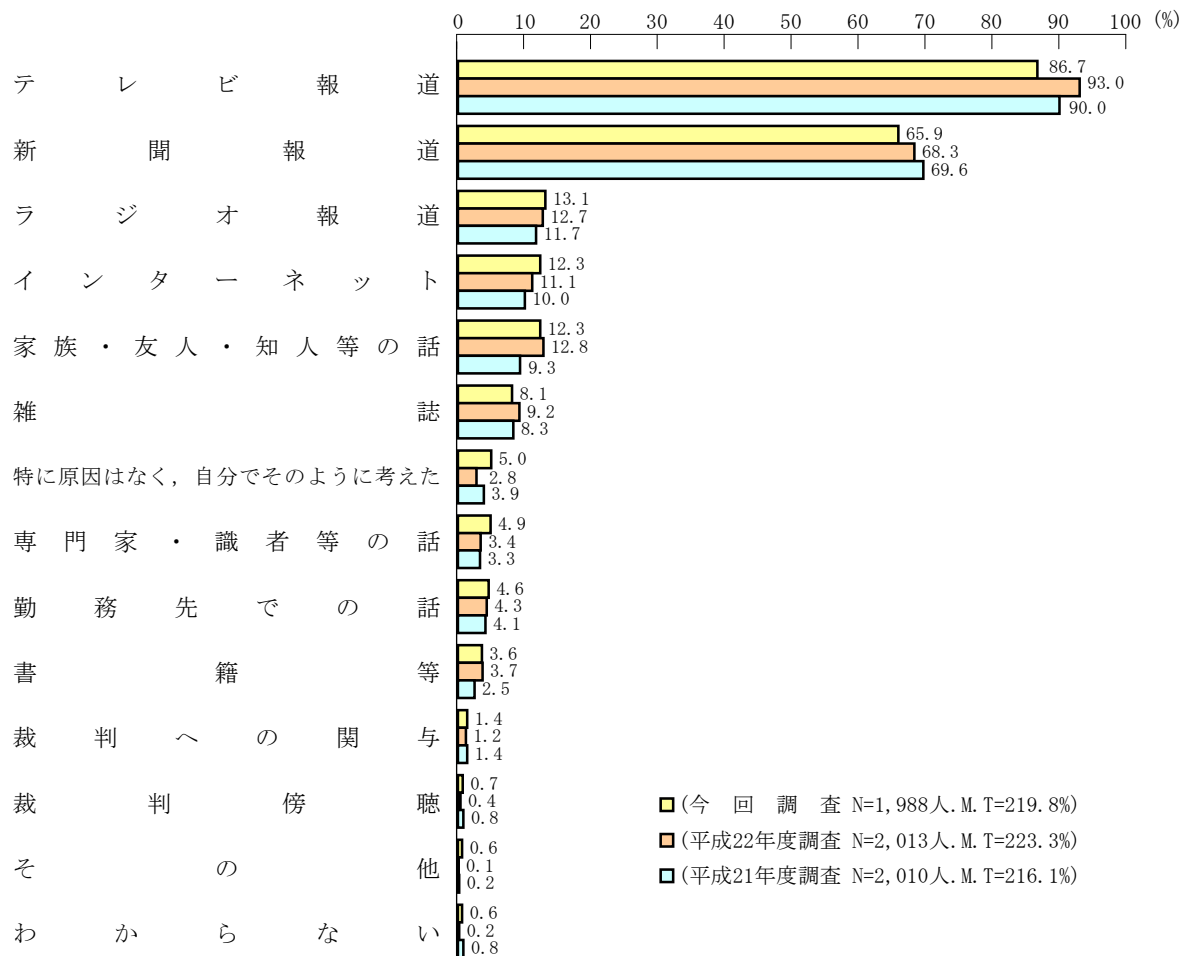
裁判員制度実施後の変化として『刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は 54.3%，『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は 14.6%である。平成22年度調査と比べて、『そう思う』が 10.0%減っている。



『刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになった』という印象について、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別にみると、大きな差はみられず、年齢別にみると、40代、50代で高くなっている。職業別にみると、自営・自由業で低くなっている。

8 裁判員制度についてQ7の印象を持つことになった原因

Q8 「回答票8」あなたが前問のような印象を持つことになった原因は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)



現在実施されている裁判員制度についてQ7の印象を持つことになった原因を聞いたところ、「テレビ報道」が86.7%と最も高く、次いで「新聞報道」が65.9%であった。以下、「ラジオ報道」(13.1%)、「インターネット」(12.3%)、「家族・友人・知人等の話」(12.3%)、となっている。

	該当数 (n)	新聞報道	雑誌	書籍等	テレビ報道	ラジオ報道	インターネット	裁判への関与	裁判傍聴	家族・友人・知人等の話	勤務先での話	専門家・識者等の話	特に原因はなく、自分でのように考えた	その他	わからない	回答計
F1【性】																
男性	955	70.8	10.4	4.7	85.3	15.6	18.1	2.0	0.9	11.1	6.5	5.4	5.2	0.5	0.4	237.1
女性	1033	61.5	6.0	2.6	88.0	10.7	7.0	0.9	0.5	13.5	2.8	4.4	4.7	0.6	0.7	203.8
F2【年齢】																
20～29歳	258	38.8	5.4	4.3	85.7	4.3	20.9	0.8	1.2	14.3	3.5	2.3	7.0	1.9	-	190.3
30～39歳	379	51.5	5.8	4.0	85.0	9.0	20.6	1.8	0.3	12.4	5.5	2.9	5.3	0.3	1.8	206.1
40～49歳	311	73.0	10.3	2.9	89.4	12.2	16.1	1.6	0.6	10.6	5.5	5.8	4.5	-	0.3	232.8
50～59歳	284	77.8	13.4	4.9	85.9	18.3	12.3	3.2	1.1	13.0	7.4	9.9	5.6	0.4	-	253.2
60～69歳	362	78.2	10.2	2.8	86.5	17.4	5.8	0.8	0.3	13.0	5.0	5.0	5.2	0.6	-	230.7
70歳以上	394	72.3	4.6	3.3	87.8	15.7	1.8	0.5	1.0	11.2	1.3	4.1	3.0	0.5	0.8	207.9
F3【職業】																
お勤め	759	65.3	10.4	4.2	85.9	12.9	19.5	1.7	0.5	12.4	8.7	5.3	5.9	0.4	0.5	233.7
自営・自由業	214	71.0	7.0	3.7	83.6	20.1	15.9	1.9	2.3	13.6	2.8	5.6	3.7	0.9	0.5	232.7
パート・アルバイト	262	68.7	5.3	1.9	90.5	8.0	8.4	2.3	0.4	13.7	4.2	5.7	3.1	-	0.4	212.6
専業主婦・専業主夫	484	62.4	5.4	2.5	87.4	12.8	4.1	0.4	0.4	11.0	0.6	3.5	5.2	0.4	0.6	196.7
学生	47	29.8	8.5	10.6	85.1	2.1	19.1	-	-	19.1	2.1	4.3	4.3	6.4	-	191.5
無職	213	75.1	9.9	4.7	86.4	16.0	4.7	0.9	0.9	10.8	0.9	4.2	5.2	0.5	0.9	221.1
その他	9	77.8	22.2	-	100.0	11.1	22.2	11.1	-	11.1	22.2	22.2	-	-	-	300.0

男女別にみると、「新聞報道」、「インターネット」は男性で高く、「テレビ報道」、「家族・友人・知人等の話」は女性で高くなっている。年齢別にみると、「新聞報道」、「ラジオ報道」は40代以上で、「インターネット」は20代、30代でそれぞれ高くなっている。